

私と日本を生かす契約の旅程（使徒1:1、3、8）

序論

▶今回の第1講義目のメッセージは、福音の中にある深い祈りの中にいれば、どんなことも問題になることはないということでした。それを逃してしまいますと、最初から逃してしまうことになります。問題が来た方が、だから良いということ。なぜなら、いつでも神様は確実な計画を持っておられるからです。

▶そして、2講義目は、一つの世紀を動かすことのできる霊的サミットを神が備えられたということでした。1講義目の霊的な序論の部分がうまくいかないから2講義目に入っていけないのです。実際的な答えはもうすでに来ているのに、それを見ることができない状態ということ。神様は間違いなく皆さんに一つの世紀を動かすことのできる霊的サミットを備えてくださいました。お金を用意しなさいと言いますと大変ですが、霊的サミットが備えられたということ。論文を書いてサミットに行きなさいと言ったら大変なのですが、備えられた霊的サミットで行きなさいということ。実際、この部分を見つけた人は、世界を動かしました。この祝福を逃してはいけません。レムナントが今たくさん座っていらっしやいます。皆さんには特別な体験は必要ありません。特別な体験と言ったら、エジプトも行かなければならないし、バビロンも行かなければならないので複雑になります。精神的にも病に侵されたり交通事故にも遭ったりしなければなりません。それは神様の御心ではありません。だから、神様は最初からみことばを握りなさいと言われました。

▶それではどのようにみことばを握って行けばよいのでしょうか。今週はずっと使徒1:1、3、8でした。私と日本を生かす契約の旅程に進まなければなりません。これが使徒1:1、3、8の中に入っています。一つの世紀を動かしていく霊的な力もここに入っています。皆さんの問題を全く心配しなくてもよい理由は、ここに入っているからです。聖書66巻はすべて重要ですが、この使徒1:1、3、8が結論です。残りはすべて証拠です。この1、3、8は答えです。キリスト、神の国、ただ聖霊です。皆さんがすでに受けた答え、契約ですから、待つて挑戦していけばよいのです。

▶序論 - 最高の答え

では、まず少し考えてから進んで行きたいと思います。神様から与えられた最高の答えはなにであり、どのように契約の旅程を進むべきでしょうか。神様がダビデに与えられた最高の答えは、王ではありませんでした。

1) WITH (救い)

▶それは、あなたとともにいるという With です。これが最高の答えでした。王になるかならないかというのは別の問題であって、親が私を捨てても主は私を捨てないと告白するくらいでした。羊飼いのように私とともにおられるために、他のものはいらぬということでした。まことにこれくらいになりますと、暗やみの勢力はみな打ち砕かれます。そこで問題が来たときに、それを問題だと思ってしまいますと苦しくなります。

2) インマヌエル (Immanuel、教会)

▶二つ目の祝福があります。インマヌエルです。私とともにいるのですが、私たちとともにおられます。

1) を救いと言うなら、2) は教会という意味があります。

3) ワンネス (Oneness)

▶三つ目はとても重要です。初代教会のときに一度起き、中世時代に一度起きたことです。でも、いまだにこれは起きていません。それがまさに Oneness です。全体が福音で一つになって起き上がるということです。教団が多いということは良い意味もあるのですが、ワンネスになっていないからたくさんの教団が生まれました。このワンネスとは恐ろしい言葉です。なぜ他の宗教に力があるのかというと、その宗教はこういうワンネスを成し遂げているからです。カトリック教会は、私たちプロテスタント教会に対して諸教会だと言うくらいに分裂していると言いました。とても深刻な話をしています。私が聖霊の導きを受けてあき子が聖霊の導き受けるならば、二人が約束しなくても同じ方向に進むことができます。でも、あき子も聖霊の導きを受けなければ、二人がどんなに相談しても合わなくなります。このワンネスは世界福音化とつながる、とても重要な言葉です。救われていない人たちがよく協力し合って疎通しましょうと言っていますが、それはまったく別の話です。救われていない人たちは、みなで一緒にということが一番良い方法だと思っています。夫婦の会話はおおくな

ければなりませんと主張しますが、それは救われていない人たちが一番良い方法だと思っただけの言葉です。本当に聖霊の導きを受ける夫婦は、会話が少なくてもコミュニケーションできます。聖霊の導き受けていない長老たちが教会で会議をやりますと、1年間ずっと集まって会議をしても喧嘩して疎通できません。聖霊の導きを受ける者が二人いるだけで簡単に解決されていきます。とても重要な3つの単語です。

▶本論 - それではどのように契約の旅を進むべきでしょうか？

契約はすでに使徒1:1、3、8だと申し上げました。

1. 契約の中に

▶そうしますと契約の中に留まっていなければなりません。契約の中にいるのに、なぜできないのか。多くの雑多なもの、間違っただけをしきりに握っているからです。契約の中にいなければなりません。牧師先生方や長老の方々が失敗をしたとしても構いません。契約さえあればいいのです。ミスをしたからと別のことをやり出してしまいます。私たちはしばしば、他のものを握っています。すべてのことを体験して悟ろうとしますと大変なことになります。みことばを握って悟り、その契約の中に留まることです。この部分がとても重要です。私が昔、伝道師の頃、島に修練会をしに行きました。いまはとても発展されたのですが、釜山にヨンウォンというところがあります。船に乗って島に向かいました。順番通りに船が来たら乗って進んで行ったのですが、私も学生たちも待っていました。小さな船が到着して私たちを見て「どちらに向かいますか」と質問出されました。〇〇島という島に行くと言ったら、乗ってくださいと言われたのです。いくらいくらですと言われました。それでお金を渡して乗りました。私と他の青年たちも一緒に乗って行きました。ある程度のところに行ったら、その船が帰ることができない状態でした。なぜ私が不安になったかという、船長さんを見ると、船長さんが不安そうにしていました。荒波がきても船長が大丈夫だと大胆に立っていればいいのですが、その船長は不安がっていたのです。どれくらいの荒波だったかと言いますと、これはもうひっくり返されるのではないかというくらいでした。私は生まれてきてあんなに大声でお祈りしたことは初めてでした。みなで一緒に祈りましょうと言わなくても、一斉に祈りだしたのです。その瞬間、私の頭の中に一気に不安がよぎりました。明日、これはニュースになるかもしれない。押し寄せる不安は言葉では表せませんでした。すると、幸い海軍の方で私たちを救ってくれる船が到着しました。私たちがそこにいると発見したからでしょう。船長は不法だから捕まえられましたが、私たちがいろいろと取り調べがあるということで書類を書かされたりしました。その地域に海軍の部隊があって幸いでした。その海軍の大きな船に乗った瞬間、本当に平安でした。どんなに荒波が来ても関係ありません。私たちが間違っただけを握っていますと、一生そのように不安の中で生きていきます。

1) 絶対契約 (使徒1:1、3、8) - 21の生活

▶どういうことかと言いますと、私たちは絶対契約の中にいるべきです。この絶対契約が使徒1:1、3、8です。キリスト、神の国、ただ聖霊です。

①この中に黙っていますと、天命、召命、使命が見えます。離れずにそこにいれば、これをずっと続けて味わって行くと。

②そうすると、いままでは大変だと思っていたことが、当然、必然、絶対的に成り立っていきます。

③あれだけ実践できなかった事柄が、この中にいると一心、全心、持続になります。

④その時から目が開かれます。ただ、唯一性、再創造です。このように見えてきます。

⑤この時から何ですか。答えが来るようになります。24時、25時、永遠です。

⑥その時から本当の答えがくる。刻印、根、体質です。これが21の伝道者の生活です。

▶この中にいればです。契約の中にいながらもしきりに間違っただけを考えますと味わえなくなります。答えられることはられるのですが、結局はいろいろと苦しめられながら、虐げられながら受けることになります。いつも通り過ぎた後に振り返ってみて感謝することになります。つまり、普段は献金しないのですが、入院して退院したときに感謝献金をしたりします。先ほどもお話ししたのですが、日本はすべて発展していますが、献金が発展していません。献金を多くしなさいという言葉でなく、あらかじめ事前に準備して封筒に祈りの課題と一緒に入れることです。実際、私たちの生活はお金がなければ大変です。ですから、主にささげる献金は祈りがそこに備えられていかなければなりません。私が持つすべてのかばんには献金の封筒が入っています。献金を祈りの中ですべきです。献金を同でもいようにやる人は、いつも貧しさを味わうことになります。

2) 霊性 - 5つの祈り

▶この契約の中にいますと、ものすごいことが付いてきます。とうとう私の霊性が生かされていきます。

契約の中にあるものが変わってこそ霊性も変わります。これが変わるとき、5つの祈りができるようになります。

①感謝が生まれるようになります。本当に感謝することができます。問題が来ても感謝です。なぜなら答えが見えるからです。問題が来てもすぐに答えが見えるから、どれほど感謝なのでしょう。

②その時から、牧師先生の説教の内容が聞こえます。牧師先生はただ語ったのに、神はその講壇を通して流れを見せてくださるわけです。

③この時から、礼拝に集中する力が生まれます。個人の祈りにも集中ができるようになります。集中の反対後は分裂です。精神分裂状態では生きられません。集中はものすごい言葉です。集中と似ているのが執着です。間違った集中が中毒です。とても重要な言葉です。

④この時から、黙っていてもいやされていくようになります。

⑤そして、目が開かれていきます。これが祈りです。

3) 知性 - 7つのタラント

▶この時から見えてくるものは何でしょうか。とうとう悟りが与えられます。知性が生まれます。

①キリストにあって聖書を読み、本を読み、目が開かれていきます。キリストを本当に味わいながら本を読むと、これは捨てたほうが良い本だと判断が付くようになります。未信者は本をたくさん読みなさいと言われますが、不信仰な内容がたくさん刻印されていますから、私は反対です。子どもたちが間違った本をどんどん読みますと大変なことになる。例えば、フリーメーソンが助けているという話は正しいようですが、防弾少年団はそっくりフリーメーソンのような話をします。彼らを UN で演説させたということは、UN はなにかの背景があるから使ったわけです。防弾少年団が演説したときの内容が、ニューエイジ、フリーメーソンの思想のメッセージを語りました。皆さんは分かりますか。レムナントだけが頷いています。最初のコメントは、自分自身を愛しなさいという言葉でした。どれほどよい言葉でしょうか。市販されている本というのは、そのような事柄の本で覆われています。私は本をたくさん読みなさいではなく、本をよく読みなさいと言いたい。牧師先生方も本をよく読む必要があります。牧師先生がいくらキリストの話をして、自分が読んだ本によって説教に影響が出てきます。ですから、本当に気を付けなければなりません。私はここまで 50 年間、未信者の話で刻印されていますから、こういう事柄の内容はとても大切で重要な話です。

②そして、この知性というのは、キリスト、神の国、ただ聖霊と三つの祭りの意味が分かるようになります。

③この時から礼拝が生かされるだけでなく、3つのことが見えます。

④タラント、

⑤専門性、自分ができること

⑥使命、

⑦そして、派遣に至るまでのことができいくようになります。以前、私はこのように話しました。成人式、使命式、派遣式。だれかがやってくれなくても自分で見つけていくべきです。この①~⑦がユダヤ人を超越していけるタラント 7つの方向です。このように契約の中にいけば出てきます。

4) 社会性 - 9つの流れ

▶この時から、社会性が生まれます。この社会性は世の中が言う社会性ではありません。9つの流れを見て取り換えていくことを指しています。

5) 生活 - 20の戦略

▶この時から、生活が成り立っていきます。20の聖書的伝道方法です。とうとう私の産業、ビジネスがキリストを表すものになっていきます。とうとう私の学業がこのキリストを現れることに用いられるようになります。これは契約の中にあることであって、契約の外にいたのではできません。

▶おそらく皆さんは、いま悩んでいることだけ捨ててもうまくいくと思います。信者なのに心配が多いです。悩んではいけません。未信者はストレスを受けると歩き回りながらお酒を飲んだりしますが、皆さんはアルコールも飲まないうえに悩むというのは大変です。私たちの教会のある勸士さんが、あまりにも神様に不信仰するので、未信者の旦那さんが逆に神様を信じなさいと言われたそうです。あれだけ熱心に教会に通っているのですが、たくさんの悩みを抱えていました。旦那さんはノンクリスチャンです。しかし、慰めながら神様を信じなさいと言われたそうです。アメリカから連絡が入りました。良い牧師先生を紹介してくださいと。良い牧師とはどんな牧師ですかと尋ねました。神様を信じる牧師を送ってくださいと言われました。この話はこの程度にしたいと思います。

▶契約の中においてこそ契約の旅程を行くことができます。

2.契約の旅程

▶最初にこれを発見するまでは大変かもしれませんが。レムナントたちも大変かもしれませんが。だから、よく私の話を聞いた後にやってみてください。

1) 問題 - Covenant

▶すべての問題は、メッセージです。すべての苦しい大変な問題は、Covenant です。

2) 答え - Vision

▶その問題に対して答えを見つければ見つけるほど、それをビジョンと言います。見えてきます。ヨセフはまだ世界福音化していませんがエジプトに行きながら見えてきました。

3) だけ - Dream

▶すると、どんなに私が欠ける者だとしても、私ができることがあります。これらの契約の旅程を成し遂げていく中で、私はとても足りないものだが私ができることがある。そうすると、私だけができることが出てきます。これらを指して Dream と言います。これは私ができることです。すると、契約が鮮やかになっていきます。

4) 絶対の方法 - みことば、祈り (Image)

▶これらを成し遂げていくための絶対方法は何でしょうか。成し遂げていかなければならないので。この方法は、みことばと祈りをやるのではなく、みことばと祈りの流れに乗っていくことです。これらを指してイメージと言います。

5) 業 - 伝道作品 (Practice)

▶すべての私の業です。すべての私の学業は伝道作品を作るためのものです。これらを指して実際にやれる Practice だと言います。このように5つを探していきまると、後に完璧な形が生まれてきます。これは実際に決めるだけでも答えられていきます。一回握るだけでも答えられていきます。

▶1つだけ例を挙げます。ヨセフにきた大変な問題、子どものお母さんが亡くなった問題は、Covenant です。契約でした。契約をそれから悟るようになりました。だから、エジプトに行く前から、すでに世界福音化を見ました。ビジョンです。それをヨセフは確実な夢だとつかんだのです。ヨセフだけができることで、神は門を開いてくださいました。良い悪いを別にしてすべてはみことばを成就されるものでした。とうとう時代的な作品が誕生します。全世界にお米を売りながら伝道しました。同じです。皆さんもこのような契約を握って初めていただきたいと思います。今回の内容はよく整理をしていただきたいと思います。

3.契約の目標 (国の王、ヨハネ 16 : 11-14)

▶3番目です。契約には目標があります。二人の王の前に立つということです。国の王の前にすべてのレムナントは立つべきです。また、もう一つの王があります。ヨハネ 16 : 11-14 です。国の王ではなく、世を支配する王、サタンの前に立たなければなりません。皆さんの答えとレムナントの答えは別のものです。

1) 以降 - 成功、エリート、経済

▶答えられた以降のことを私たちは考えなければいけません。成功のための目的ではなく、成功は当然ですから成功以降のことを考えなければいけません。エリートになることが目標ではなく、その後のことを考えるべきです。お金がもうかった後、経済が生まれた後のことを考えなければいけません。信仰がどれほど良いのかわかりませんが、ジム・ロジャーズという人の本を読んでなるほどと思いました。この人は、45歳か48歳ぐらいに引退すると宣言しました。その理由は、残りの人生、若いときに献身しようと思ったのです。この言葉はすぐに聞かなくても結構です。なぜなら、皆さんにいま引退されたら困りますので。準備を彼はそれくらいしたということです。45歳までどれぐらい熱心に人生を備えたかと言いますと、横にいた妻が逃げたというくらい熱心でした。でも、本当に成功してその年で引退したのです。文章を自分で綴ったり、社会奉仕をしたり、いろいろなことをやりました。2番目の妻に会って娘も生まれたりメディアにも出ましたが、そのように家庭を築いています。そして、娘さんに送る手紙だということで、それも放送されたこともあります。最初の逃げた妻の方が大変かわいそうだと思いますが、私たちは成功した後を見るべきです。

2) 理解、適応、再解釈

▶私たちがいま勉強している理由はどこにあるのでしょうか。また、多くのことを学ぶ理由は何でしょうか。私たちが物事を理解するためです。そして、適応しようとするためです。私たちが理解し適応しても、すべてを再解釈しなければなりません。本当に答えを受けるために、すべてを再解釈しなければなりません。合っているように見えるけれども、再解釈しなければなりません。合っているように聞こ

えますが、神のものでなければそれは違うということです。

3) ただ、唯一性、再創造

▶それで、今日 2 講義目の神から与えられる「ただ」を見つけてください。神様が答えてくださる唯一性を見つけてください。世界を変える再創造を見つけていかなければなりません。これからレムナント運動はそれこそ再創造です。後に見てみてください。本人たちもまだ分からないかもしれません。子どもたちの中からどんなことが起きるか分かりません。「先生、レムナントの中でいろいろと崩れている子どもがいるのに…」と言いますが、崩れるけれど、また起き上がってくるはずで、何も関係ありません。絶対に一度入った契約は一切消えません。この話を聞いて、ちょっと揺れてもいいなと思うかもしれませんが、わざわざする必要はありません。けれども揺れても関係ありません。

▶私は病気になって、その後に悔い改めたわけではありません。経済問題が来たから悔い改めたわけはありません。なにが答えなのか分からないからいろいろとさ迷い歩き回って崩れたのです。だから、私の母親が祈り、周りも祈った人が多かったと思いますが、いろいろな人からあの子はダメだと言われました。一番お母さんの側にいた叔母さんが私の母に言いました。もうあの子はダメだからあきらめなさい。そんなに祈るなどと言われるくらいでした。あまりにも私自身が母親を苦しめたので。でも、ある日、神は私に働きました。絶対契約はなくなりません。祈りは消えません。母の祈りがそのまま成就され、私自身にある日、それが働きかかりました。みわがが起きたので、イエス様を信じて聖書を持って教会に行きました。聖書を持って教会に行ったら、飲み屋の社長さんが天を見つめ、「やはり神様は生きていますね」と言われました。教会に行ったら、教会の前に不良がいっぱいいたむろしていました。教会の前で不良の人たちが来て礼拝を妨げたのです。教会が壁がないところで道がすぐつながっていました。だから、私にどうして話してくれなかったのですかと母に聞いたら、あなたが行ってケンカしてはダメだからと言われました。私は教会に行った初日から、外にいる不良どもにすべて伝道しました。みんな教会の中に入ってこさせました。そうしたら牧師先生がびっくりされました。あれだけ礼拝を妨げていたものたちが、教会の中で礼拝をささげていたので。もちろんいま一人ずつ逃げていなくなりましたが、その中で本当に信じる者が出てきました。びっくりしました。人というのはよく分かりません。皆さんがこの契約の旅程を行くうち、いろいろなすばらしい答え、祝福がたくさん備えられています。

結論

▶それでは、これから握って欲しいことがあります。これからは皆さんの選択です。

1) 分別

▶まず分別することです。以前も話しました。分別、この識別力はどういう者でしょうか。

(1) 現実 (うわべ・あがき)

▶世の現実をよく見てください。本当に良く見ると、ただうわべだけ世界です。うわべのことです。実際、友達と会って話をするときにも、本当にすべて本音を語りますか。それはすべてうわべです。外の人たちがいろいろなことを言っても、それは生きるためのあがきです。そうだと思います。そういう事柄に私たちは騙される必要はありません。

(2) 事実 (苦しんでいる・うめき声)

▶今度は事実を見極めることです。事実をよく見ますと、皆苦しんでいるのです。キリストがいない人が苦しいというのは当然の話です。ただうめいているだけです。お金のたくさんある人は、実はうめき声が非常に激しいはずで、まずはだまされないことです。

(3) 真実 (病んでいる)

▶より真実を見るべきです。どのような形でしょうか。より真実を見ると、皆病んでいます。そうだと思います。

(4) 霊的事実 (貧困)

▶もっと重要なのは霊的事実を見るべきです。どうでしょうか。霊的事実は、霊的乞食状態です。本当に貧困状態です。語ることなすこと肉的で、教会で話すこともすべて肉的なことを話します。霊的なことはありません。試みにあっても、その事柄が肉的なことです。いろいろなことを話しますが全部世的な話です。序論的なことを超えることができません。私たちまでそうなるはいけません。そうですよね。

(5) 神様の計画 (答え)

▶この時、私たちは、神様の計画が見えてきます。だから、答えを与えることができます。必ず覚えておいていただきたいと思います。

2) All-in

▶いまから皆さんはたくさんのごことをやる必要はありません。一つのことにオールインしてください。この一つですべての答えを得るべきです。

(1) 牧師

▶牧会者は、他のことはとにかく置いておいてください。伝道にオールインすべきです。

(2) 長老、重職者

▶長老と重職者は、教会を生かすことにオールインしてください。そのためにビジネスもあるということが順序的には合っているのです。そうしませんと、すべてがむなしいうことで終わってしまいます。当然ながらそうなります。皆さんの人生一度しかありません。早く順序などを調整しなければなりません。教会を生かすことにオールインすることです。いま世の中が暗くなったのは教会の責任です。仏教の責任ではありません。いま、世界で霊的問題が多いのは日本の責任ではありません。教会の責任です。では、教会はどうしてこうなのか。牧師の責任です。牧師はどうしてそうなったのか。神学校の教授の責任です。だからオールインしてください。皆さんが順序を変えてください。教会で本当にオールインするために、5つの契約を参考にしながらやってみてください。祈り始めてください。答えがどう来るかを確認してみてください。

(3) レムナント

▶そして、特にレムナントです。レムナントは答えを受けようではなく、正しい契約の旅程を作ることによってオールインしてください。だから、一日に5分でも構いませんから、深い祈りの中に入るとき、素晴らしい力が生まれます。勉強も力がなければできません。未信者はそのような力なしで自分の努力でやっているから脳に問題が来てしまいます。だからエリート学校出身で勉強ができる人でも霊的問題が来て自殺してしまうのです。芸能人がどうして自殺するのか知っていますか。霊的問題に勝てないからです。だからオールインしなさい。ここからやってみてください。他のことはこのオールインのあとに付いてきます。これが本当です。本当の画家というのは、絵を通してすべてを現します。まことのクリスチャンは、自分が受けた身分の中ですべてを現すことができます。

(4) 無能者

▶私は無脳なものです。これは普通の病気ではありません。だから、オールインしてください。力を受ける機会が来たと思ってください。

(5) 病人

▶この中で病気のある方々、霊的問題のある方々、機会です。オールインしてください。答えを受けてみてください。このような驚くべきことを、主が備えられたということに気づいて行くはずですよ。

3) 祈り

▶それでは、このすべての事柄が祈りによってできるようにしてみてください。そうすると、御働きの続けて起きます。

(1) Covenant-使徒1:1、3、8で1千万弟子

▶それでは、私がやっていることをご紹介します。私の Covenant は何でしょうか。ただキリスト、神の国、聖霊の満たしで1千万の弟子です。ただキリスト、ただ神の国、ただ聖霊で5つの霊力です。これが私の Covenant です。

(2) Vision- RUTC

▶私にもビジョンがあります。私のビジョンは、1千万の弟子も起きなければならないということですが、いまの頭の中に入ってくるビジョンです。それは全世界に RUTC が立てられることです。文化を取り換えるために。

(3) Dream-レムナント (システム)

▶私の Dream です。レムナントです。レムナントを育ててこそそれらが起こります。これが私の Dream です。そして、レムナントを育てるための多くのシステムが頭の中にあります。

(4) Image- 24時

▶私のイメージは何でしょうか。もちろんみことばと祈りがあるのですが、24時ということです。私はこの今の契約の祈りを24時やるということです。呼吸をやりながら呼吸に合わせて祈りをします。皆さんもやってみてください。これらひとつひとつ決めて、呼吸を祈りをしながらゆっくりとやってみてください。皆さんの体がどうなっていくかを体験してみてください。

(5) Practice- 25時、永遠

▶そして私の Practice です。25時、永遠です。これだけを考えています。私たちの力ではできないから、25時でなければいけません。世の中のものでは行けません。永遠なものでなければなりません。これを一日中祈りをもってやっています。

▶皆さんが座っているときもただ座るのではなく、祈りながらゆっくりと呼吸をしながら座ってみてください。この時間にこれを科学的に説明するのは複雑です。分かりやすく言えば、癌の細胞というのは、いまも皆さんを攻撃しています。防いでいくには、この祈りと呼吸しかありません。実際、子どもでも呼吸の短い人は、脳に問題が来てうつ病も生じます。病院に行ったときにはすでにになにか現れ、病気だということが確認されている状態です。写真に出るということは、確認されていることだから危険です。その後はどうしましょうか。ですから、そうなる前の段階が必要です。そして、その後も重要です。やってみてください。特に大人の皆さんは、絶対にこの5つをやるべきです。一日中契約を握って目に見えること、考えること、すべて思いつくままに祈りにつなげることです。

▶幸い私の立場は24時祈りをしなければできないものです。幸いに私の立場上やらなければいけない立場なのでそれも祝福なのですが、そのようにやっています。ある人はあまりに祈っていないから言葉遣い事態で祈っていないのが現れます。果てしなく自分の考えを発していますから、間違った方向に行くしかありません。未信者の間で、人間は考える輩だと言っていますが、それは未信者の考えで、そういうものではないと思います。救われた人は、考えるのではなく祈ることです。なぜなら神がともにおられますから。私は仏教の中で無我の極致に至るということ、自分が仏になるということまで理解できます。でも、滅びるかどうかも考えずに自分が仏になるということ。でも、私たちは神がともにおられます。しかも聖霊の御霊でともにおられます。

▶今回の集会は短かったですが最高のスタートになることを主イエスの御名で祈ります。

「あなたは最高の祝福された人です」。いま無理矢理にやっています。本当に祝福してください。

「あなたは祝福された方です」。皆さんの言葉もそれほど重要です。

(祈り)

神様、感謝します。私たちに神様の始まりがありますように。神様の契約とビジョンがありますように。神様に向けられたオールインが私たちの夢となりますように。みことばと成就が私たちの作品となりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。